

風をおこそう～～

No 1 7

仲田ゆう子 後援会だより



後援会長 杉浦和夫 後援会事務所：島田市金谷3641 TEL：0547-46-2000

仲田ゆう子自宅事務所：島田市菊川69番地の1 TEL：0547-45-2368 FAX：0547-45-5336

E-Mail : yuko-n@tokai.or.jp ブログ <http://ameblo.jp/nakada-yuko/>

神谷城地区の拝賀式



毎年1月1日の朝8時より神谷城地区にある神社に集まり拝賀式が行われます。今年もキュッとしまった寒さの中、元旦の顔会わせです。良い年になりますよう祈りました。

私の住む菊川・諏訪原城史のある菊川七組・猪土居・神谷城・の地域では、一月一日に集まり新年をお祝いします。

特に神谷城では、元日の朝八時から拝賀を行います。皆さん朝早くから集まり寒中たき火をして近況を話しながら八時を迎えます。近年このような行事を行う地域は少なくなりましたが、元日の朝、顔会わせをして今年一年の無事をお互いに願うことは地域の絆を深めるためにも有意義なこと。企画を続けて下さる役員各位に感謝申し上げます。今年も地域活性化活動に、ご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。



今年は「巳」の年です。キュウリで作った「へび」をみつけ写真にとりました。「巳年の人はお金に困らない」と祖母が言っていたのを思い出します。

今年も、多くの皆様から、年賀状をいただき、誠にありがとうございました。尚、議員が不特定多数に対し、年賀状を出すことは、公職選挙法で禁じられております。どうぞご理解下さいませ。

私の所属する会派「清流会」での視察の様子です。

「清流会」は、旧金谷町・旧島田市・旧川根町に在住する四名で結成しました。

安全な木材チップ（ガレキ）受け入れに賛成しました。



山田町の役場から写した写真です。丘の上にあった役場は無事でしたが、街は津波にのみ込まれ、基礎だけが残っている様子を見たとき、言葉を失いました。

災害ボランティアセンター代表岡田栄悟氏の指導で、海に潜り捜索にあった地元ボランティア青年達の活動は「遺体発見を目的とする残酷で悲しい作業だった」とのことでした。



被災地では、未だに行方が分からないご家族（ご遺体）が大勢いるそうです。安全な木材チップ（ガレキ）の受け入れが、一日も早い被災地の復興支援に繋がると信じ「清流会」では受け入れに賛成しました。

自らの目で現地を視察し、現場の声を聞き、島田市の市政に活かす事を目的に視察をしてまいりました。

○新潟県小千谷市では、平成十六年に当地で発生した豪雨での犠牲者の多くが六十五才以上の方だった。このことから「被災時要援護者避難支援制度」が出来た。「高齢者の名簿」に基づき、いざ災害時において救援の手段として役立てる制度である。島田市においてもおいに参考とすべき制度であった。



○青森県八戸市における中心市街地活性化と発展について研修視察した。

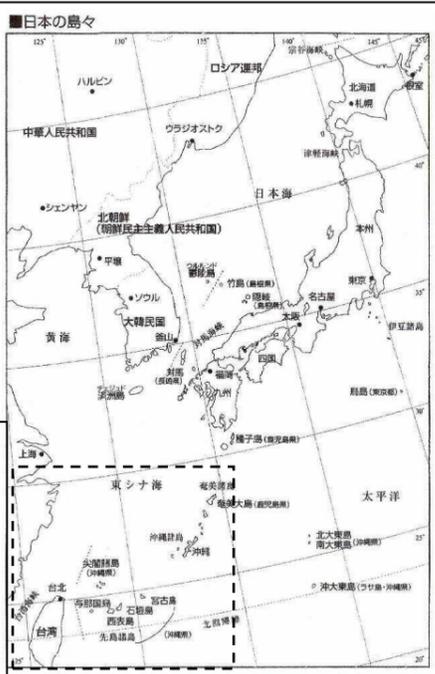
平成二十三年二月 「八戸ポータルミュージアム」愛称「はっち」が開館し、中心市街地の歩行者は三十一%もアップした。「はっち」開館後に新規出店や大型民間開発構想が相次いで浮上した。などの説明を受ける。島田市における「おりびあ」周辺の活性化に期待する。

○青森市・「ねぶた祭り」や多くの観光地を抱え、平成二十二年十二月四日には、東北新幹線青森駅が開業、「元気都市・あもり」を目指して新しいまちづくりを進めていた。「中心市街地活性化の取り組みにおいては、中心市街地から郊外へ総合病院と図書館を移転した。このことが、中心市街地の空洞化を助長させたことは確かである。当時郊外へ移した理由は単に土地の価格が郊外の方が安価であったためであるが、もう中心市街地へ戻すことは不可能である。人口の減少と共に、これ以上郊外にも空洞化が出来、高齢者・障害者等が生活しにくくなってしまふことを解消する事業として、中心市街地の活性化とコンパクトシティを推進している。」などの説明を受けました。

あなたは、
尖閣諸島の位置を正確
に知っていますか

昨年十一月「牧野たかお参議院議員国政報告」が、佐藤正久参議院議員の記念講演と共に、「みんくる」で行われました。

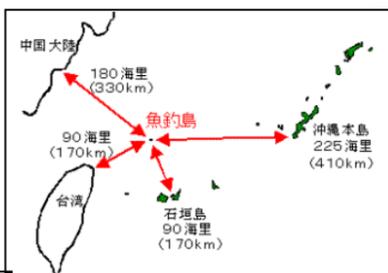
信頼という言葉が政治と社会から消えつつあります。しかし、それが当たり前になってはなりません。「昨日より今日」「今日より明日」ゆるやかでも



ヒゲの隊長 「佐藤正久参議院議員」 の記念講演がありました。



日本地図をしつかり見たことがありますか？
特に政治家が、竹島や尖閣諸島の位置が分からないで、なにを論じても空しく聞かれます。
日本列島は四方を海に囲まれて平和で安全と思いがちですが、日本近海で数え切れない国家主権を脅かす領土問題が露呈しています。日本の平和と安全は考えているほど盤石ではありません。先人から受け継いだ竹島、北方領土、尖閣諸島は守らなければなりません。



大井上水道企業団議会議員研修報告



大井上水道企業団は、金谷地区・湯日地区・牧の原市の一部に安全で美味しい水を供給しています。
大井上水道企業団議会議員

平成二十四年十月十八日、十九日の二日間にかけて、岩手県陸前高田市震災時における配水池施設等の復旧状況及び宮城県名取市における復旧「さいかい市場」の状況を視察した。

陸前高田市へ向かった。あの奇跡の本松で有名になった海岸線は、かつて松林だった面影は全く無く、満潮時には仮設道路に海水が入り込むほど地盤が沈下したとの説明であった。

長部水源は、越前高田市に複数ある水源地の一つである。津波により全滅し長期の断水となり復旧までの間は、応急給水活動により生活用水を供給した。

ここ長部水源は塩分が入ってしまったため、海水をくみ出したが塩分は収まらず水源地としては断念し、同地に仮設配水池を緊急で設置し、気仙配水池から受水しポンプ場として復旧した。

水道が全戸給水するまで、約三ヶ月かかっているが、全国から水道復旧の人的応援を受け、応急給水活動を行った。このようにして水道施設は一年後になんとか仮設の復旧がなされた。

政府においては、完全復旧を平成二十五年五月までとしているが、関係者によると、かなり難しい目標のようである。地震災害と津波災害がもたらした水道復旧はまだ続いている。

二日目。

宮城県名取市は、東部有料道路が堤防の役割をなし、津波はこの高速道路を越えなかったため、道路の海側は完全に破壊され、反対側は無傷だった。

このことから住民の生活もこの道路により命運を分けたことになる。

東部有料道路の海側にあり、完全に破壊された商店の経営者達がライフラインの被害が少ない場所に、政府の補助金を受けて集まり「さいかい市場」を仮設させたとのことだった。

この仮設市場も五年間の期限があり、元の街が復旧しない限り商店の復旧もない等の問題が多いと説明を受けた。

また、『津波が押し寄せて歩道橋によじ上った人が、手をさしのべて助けようとしている人の横で流れていく人を見て二人は助ける事が出来なかった。地獄を経験した私たちは、「さいかい市場」の「さいかい」をひらがなにし、被災によって停止していた事業の再開と、お客様との再会を目指してひらがなで「さいかい市場」としました。』と語ってくれた市場関係者の言葉に、大井上水道企業団議会議員全員が、今回の視察は災害時の水道復旧視察でしたが、水道復旧だけでは無く、東日本大震災の一日も早い完全復興を心から願った意義ある視察でありました。

議員定数に関する特別委員

島田商工会議所・島田商工会・島田市自治会・島田市青年会議所の四団体より「議員定数に関する陳情書」提出され、うち三団体は削減の検討となっていた。このことを踏まえ、平成二十四年九月十三日「議員定数に関する特別委員会」が

設置された。当委員会は、議員定数の検討を議論し、削減の方向で進む事となった。

委員所属会派の提示定数を具体的に発表した。創造島田は二十一人・維新塾は十八人・日本共産党島田市議団は現状維持・公明党は二十人・

明政会は現状維持と二十人・清流会は二十人・新生しまだは二十人・との具体的意見を集約した結果、当委員会として、議員定数を二十とすることを、次回の市議会定例会に於いて、議員発議で提案することと結論を出しました。

賛成多数で可決すると思えます。よって五月の「市議会選挙は二十人の定数」となる予定です。

あとがき



仲田ゆう子後援会の皆様におかれましては、平成二十五年が幸多き年でありますことを、心よりお祈りいたします。

日頃は、仲田ゆう子をご支援いただき心より感謝しております。

昨年十二月の衆議院選挙では、井林たつり氏が当選し、代議士へと進むことが出来ました。そして、今年には選挙の多い年です。

五月十九日島田市・市長・議員選挙があります。六月には、知事選挙があり、七月には、参議院の選挙と続くこととなります。

島田市の議員定数も二十人となる予定とのこと、厳しい選挙戦になることでしょう。後援会の皆様におかれましては、仲田ゆう子を温かく監視していただき、お気づきの点がありましたら、ご指導いただきますようお願い申し上げます。

後援会長 杉浦和夫

◎「仲田ゆう子後援会だより」をご愛読下さりありがとうございます。どうぞお喜びください。また、お名前等不手際がありましたらお詫び申し上げます。ご一報下されば幸いです。尚、この後援会だよりをご迷惑と思われる方は、お手数で申し訳ございませんが、ファックス・e-mail 等でお名前とご住所をお知らせくださいませ。次回より控えさせていただきます。